

東日本特別

工程表に沿った業務推進を 減容化施設に係る進捗状況

環境省から、10万ベクレル/kgを超えるものは中間貯蔵施設に搬出し、10万ベクレル以下のものは富岡町の処分場（エコテッククリンセンター）に搬出する計画であるとの説明を受けました。

委員会は、仮設減容化処理施設の工程表に沿って業務を推進し処理完了時期が遅れることのないように求めました。

なお、減容化施設建設現場を委員全員で調査しました。



減容化施設建設に向けて整備が進む

東日本特別

義 援金配分案を了承 町義援金の配分

国・県からの2次義援金の追加配分があったことから、町義援金を加えて町民に対し1人当たり1万5000円を配分していきたいとの説明を受けました。

委員会は、町義援金の配分（案）を了承しました。

東日本特別

予 定の1/3の発電でも事業を進めるのか ふくしま広野町メガソーラー発電

東北電力㈱の説明では、当該地域の接続連携に関して既に他業者からの本申込書が入っており、送電線の制約が発生することがわかり、結果として、広野町に対して連携可能容量として1999kWの申し込みに対して720kWを確保したとのことでした。町として720kWで進めたいとの説明を受けました。

委員会は、図面ができたあがった後、現地調査を含め説明を求めました。

定数特別

定 数削減はやむなしではないか 議員定数に関する検討

それぞれの委員が議員定数についてどう考えているか意見を述べてもらいました。

「定数削減が必ずしも最善の策ではない。」といった認識は持ちつつも、震災前と比べ人口が減少し、町民の帰還がなかなか進まない状況下では、削減やむなしといった意見が大勢を占めました。

委員会は、これらの意見を踏まえて定数削減の方向で協議を進めていくこととし、具体的な削減数についても次回委員会で協議し、早めに結論を出すことで意見が一致しました。



議員定数を協議

＜北海道登別市視察研修＞

北海道登別市 明日（あけび）中等教育学校（公立の中高一貫校）を視察 ～双葉郡の未来を担う人材育成へつなげる～

総務文教 委員会



教育内容を学ぶ委員

知性・好奇心を湧かせる授業、生徒の運営による活気溢れる各種行事・部活動に対する真剣なまなざしと躍動する姿など学校に対する愛着と誇りを参観しました。

来春県立「ふたば未来学園」開校に向け準備が進められています。

卒業生がふるさと双葉を再建できる人材になることを願うものです。

今回の研修は「復興教育拠点としての心構え」を確認できる研修でした。

＜長野県川上村視察研修＞

長野県川上村ヘルシーパーク構想を学ぶ ～高齢者が安心して生活でき健康で生きがいのある生活するには～

産業厚生 委員会



課題や目標を質問する委員

川上村のヘルシーパーク構想は「村は屋根のない病院」をテーマに高度医療、自然環境、人間関係を大切に保健・福祉・医療・介護の一体化・一元化を図るための事業です。

今後、町の復興には保健師と管理栄養士の確保に努め健康づくりと疾病予防、介護予防、高齢者の生きがいづくりに力をいれること。

そして保健・福祉の情報共有と医師との連携を定期的に構築することが必要であると感じた研修でした。

＜岩手県金ヶ崎町議会広報編集特別委員会視察研修＞

第28回町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞 ～町民と議会をつなぐ役割を再認識～

広報 委員会



お互いに編集内容を学ぶ研修

編集内容などは、議会の役割の特集記事、住民の登場記事を多く取り入れた紙面を作成しています。

これらが議会と住民をつなぐ広報紙の役割を果たしていると思われました。

これらに学び広野町議会広報編集も、町民の声を多く取り入れ掲載し、町民と議会をつなぐ身近な広報紙としてその役割を果たすべく委員一同さらなる編集技術の向上に努めなければならないと、認識させられた研修でした。